



デビュー40周年を迎え、名器ストラディバリウス「デュランティ」を手に  
さらなる活躍続ける千住真理子が、  
古都ドレスデンで140年もの歴史を誇る  
伝統あるオーケストラと共に贈る渾身のプログラム！  
指揮は20世紀ドイツの巨匠  
クルト・ザンデルリンクを父に持ち、  
ドレスデン・フィルの新たな黄金時代を築く  
首席指揮者ミヒャエル・ザンデルリンク！

# MARIKO SENJU & DRESDNER PHILHARMONIE

## 千住真理子(ヴァイオリン) Mariko Senju, Violin

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。

1999年2月、ニューヨークカーネギーホールのウェイル・リサイタルホールにて、ソロリサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディバリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2014年はハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団とのツアーを行い、好評を博した。2014年11月には最新アルバム「千住真理子ベスト」をリリースした。2015年はデビュー40周年を迎える。

©富田真光(vale)



コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」母との共著「母と娘の協奏曲」(以上時事通信社)「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)など多数。

■ 千住真理子オフィシャル・ホームページ  
<http://www.marikosenju.com>

## ミヒャエル・ザンデルリンク(指揮)

Michael Sanderling, Conduct

ベルリン出身。幼い頃にチェロを学んで音楽の道を志す。クルト・マズアによりライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のチェロのソリストに選ばれ、後にベルリン放送交響楽団でも同じポストについた。欧米各地の著名なオーケストラとチェロのソリストとして共演し、世界的な成功を収めている。10年ほど前(2001年)に指揮者としての活動を始めるとすぐに頭角を現し、チュリッヒ・トーンハレ管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、シュツットガルト放送交響楽団、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、オランダ・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、ライプツィヒMDR交響楽団、ハンノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、ザールブリュッケン放送フィルハーモニー管弦楽団、ストラスブール・フィルハーモニー管弦楽団などの著名なオーケストラに頻りに招かれている。なかでもケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団との活動は、ケルン歌劇場のプロコフィエフ作曲《戦争と平和》(11年)での指揮に結びついた。2006~10年にはポツダム・カンマーアカデミーの首席指揮者と芸術監督を務め、外国公演を指揮し、SONYクラシカル・レーベルにてショスタコーヴィチ作品を録音している。



©Marco Borggreve

若手音楽家の指導、支援にも意欲的で、ドイツの最も有名なユース・オーケストラのひとつであるドイツ弦楽フィルハーモニーの音楽監督を務めている。1994年にベルリンのハンス・アイスラー音楽大学のチェロ科教授に就任し、1998年以降はフランクフルト・アム・マイン音楽舞台芸術大学で教鞭を執っている。

ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団とのつながりは25年ほど前にさかのぼる。'87年、'90年、'94年にチェロの客演ソリストを務め、2004年に初めて指揮を受け持った。そして'11/'12年シーズンに首席指揮者に就任した。

## ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団 Dresden Philharmonie

2010年に、創立140周年を迎えたドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団は、創立以来、それぞれの時代の名だたる指揮者たちと活動してきた。1930年代に世界的な名声を得たのは、パウル・ファン・ケンペンのリーダーシップによるところが大きい。この時期の成長により、アルトゥール・ニキシュ、ヘルマン・アーベントロート、ハンス・クナッパブッシュ、フリッツ・ブッシュ、エーリッヒ・クライバー、ヨーゼフ・カイルベルトなどの世界的な指揮者たちの客演が実現した。第二次世界大戦後のオーケストラ再建期においては、ハインツ・ボンガルトが首席指揮者として多大な貢献を果たしている。その他の指揮者では、首席指揮者時代に活躍したクルト・マズアの名があげられる。

'94/'95年シーズンは、世界的に定評のあるミシェル・ブラッソンが首席指揮者を務め、コンサートのプログラムでもフランスの重要な作曲家に焦点が当てられるようになった。'99年にブラッソンが退任すると、2001年に彼に劣らない名声を得ているマレク・ヤノフスキがその後継者となる。ドイツの伝統を継承し、あらゆる世界一流の演奏会場で世界的なオーケストラと共演してきた経験豊富なヤノフスキの参加は、ドレスデン・フィルにとってたいへん歓迎すべき転機となった。

'03/'04年シーズンにはラファエル・ブリーベック・デ・ブルゴスが首席客演指揮者に迎えられ、1年後に首席指揮者に就任する。世界のトップ・オーケストラを指揮してきた経験とカリスマ性をもつ彼と、ドレスデン・フィルとのパートナーシップは大成功で、ドレスデンツアーでのコンサート、世界各国で発売されたCDの高い評価につながった。

'11/'12年シーズンより、ミヒャエル・ザンデルリンクが首席指揮者を務めている。



©Marco Borggreve

デビュー40周年記念アルバム第1弾!(好評発売中)  
心に残る名曲、名演がこの1枚に全て凝縮!

### 千住真理子ベスト



CD: UCCY-1045  
(UCJジャパン)  
¥3,240(税込)  
●ツイゴイネルワイゼン  
●G線場のアリア  
●別れの曲  
●タイスの瞑想曲  
●愛のあいさつ  
●愛の夢 他

デビュー40周年記念アルバム第2弾!(1月14日発売)  
挫折と絶望に唯一光を与えた奇跡の音が、ここにある!

### 心の叫び〜イザイ:無伴奏



ヴァイオリン・ソナタ全曲  
CD: UCCY-1048  
(UCJジャパン)  
¥3,240(税込)